



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3302 URL <http://www.teisen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 飯田 時章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 岡村 建 TEL 03 (3281) 3022
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第3四半期 | 23,523 | 9.5 | 3,081 | △8.4 | 3,638 | △5.4 | 2,457 | △7.2 |
| 2018年12月期第3四半期 | 21,476 | 39.2 | 3,362 | 104.3 | 3,846 | 93.5 | 2,648 | 95.8 |

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 3,926百万円 (452.3%) 2018年12月期第3四半期 710百万円 (△68.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期第3四半期 | 93.51 | 91.69 |
| 2018年12月期第3四半期 | 100.91 | 99.22 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年12月期第3四半期 | 63,971 | 50,592 | 77.9 | 1,896.95 |
| 2018年12月期 | 62,134 | 47,517 | 75.6 | 1,787.53 |

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 49,842百万円 2018年12月期 46,967百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期に係る連結財政状態については、当該表示方法の変更を反映した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2019年12月期（予想） | — | — | — | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,000 | 1.2 | 4,500 | 0.5 | 5,000 | 0.1 | 3,400 | △0.1 | 129.40 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年12月期 3 Q | 27,218,400株 | 2018年12月期 | 27,218,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年12月期 3 Q | 943,338株 | 2018年12月期 | 943,117株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年12月期 3 Q | 26,275,203株 | 2018年12月期 3 Q | 26,249,014株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (会計上の見積りの変更) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用環境の改善が続くなど景気は緩やかな回復基準を維持しました。しかしながら、長期化する米中貿易摩擦の影響などにより、世界経済は一段と減速感を高めております。

防災事業の分野では、昨年の西日本豪雨、台風21号につづき、本年においても台風15号、台風19号は東日本の広範な地域に甚大な風水害被害をもたらしました。相次ぐ記録的な豪雨や暴風は、河川の氾濫や土砂災害などにより、国民生活、企業活動に大きな混乱を生じさせています。さらには、各地で局所的な地震が頻発しており、首都直下地震、南海トラフ地震による脅威もますます高まっています。また、世界各地でテロが発生する中、多くの人命が奪われ、テロをはじめとする特殊災害のリスクが世界的な拡がりを見せるなど、東京オリンピック・パラリンピックを控え、災害に対する官民挙げての防災体制の確立がますます重要となっております。

繊維事業の分野では、リネン(麻)につきましては、麻素材が市場に定着してきたこともあり、順調に売上を伸ばしつつあります。また、耐熱、耐切創、高強度など優れた機能の特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野を中心に新規商材の開発が進展しつつあります。

2017年度よりスタートした第四次中期経営計画「帝国繊維(テイセン)2019」では、消防など公的組織における防災対応力強化への対応に加えて、特に原子力発電所やコンビナートなど基幹産業を中心とした民需防災分野における防災・減災対策への応需が、業績に大きく貢献しており、掲げた主要テーマはいずれも着実に前進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は235億2千3百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は30億8千1百万円(同8.4%減)、経常利益は36億3千8百万円(同5.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億5千7百万円(同7.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

防災事業の分野では、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材や空港向けセキュリティ機材のマーケットへの営業成果が順調に拡大し業績に貢献している他、救助工作車、空港化学消防車の拡販も堅調に推移し、売上高は191億3千3百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

繊維事業では、麻素材ビジネスが伸長している一方、官公庁向け繊維資材の売上が減少した結果、売上高は39億7千4百万円(前年同期比22.7%減)となりました。

不動産賃貸事業・その他は概ね順調に推移しており、売上高は4億1千5百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

最終年度を迎える今期は、ますます緊急性・重要性が高まっている水害対策に関し、送水・排水機能に優れた特殊車輛により、消防防災の対応力充実強化に一段と貢献する他、東京オリンピック・パラリンピック及び訪日外国人観光客の爆発的増加に対応するテロ等の特殊災害についても強化・発展させてまいるなど、「帝国繊維(テイセン)2019」に掲げた諸テーマの完遂を期して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が18億3千7百万円増加し、639億7千1百万円となりました。

これは主として、売上債権が減少した一方で、現金及び預金の増加や保有上場株式の含み益の増加などがあったことによるものです。

負債は、繰延税金負債が増加した一方で、仕入債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ12億3千8百万円減少し、133億7千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や保有上場株式の含み益の増加などがあり、前連結会計年度末と比べ30億7千5百万円増加し、505億9千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は77.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2019年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,514,303 | 11,292,829 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,156,345 | 5,234,796 |
| 有価証券 | 12,449,990 | 12,349,980 |
| 商品及び製品 | 6,211,966 | 6,234,539 |
| 仕掛品 | 1,214,931 | 1,247,629 |
| 原材料及び貯蔵品 | 554,598 | 760,564 |
| その他 | 401,571 | 183,502 |
| 貸倒引当金 | △674 | — |
| 流動資産合計 | 37,503,032 | 37,303,841 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,598,908 | 2,619,834 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 308,127 | 324,831 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 330,165 | 295,272 |
| 土地 | 1,672,809 | 1,700,118 |
| 建設仮勘定 | 190,263 | 130,577 |
| 有形固定資産合計 | 5,100,274 | 5,070,634 |
| 無形固定資産 | 46,449 | 175,966 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 18,967,247 | 21,114,158 |
| 退職給付に係る資産 | 25,418 | 4,116 |
| 繰延税金資産 | 72,849 | 87,805 |
| その他 | 422,092 | 218,055 |
| 貸倒引当金 | △3,159 | △3,159 |
| 投資その他の資産合計 | 19,484,449 | 21,420,977 |
| 固定資産合計 | 24,631,173 | 26,667,577 |
| 資産合計 | 62,134,206 | 63,971,419 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,494,269 | 4,053,751 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 77,200 | 77,200 |
| 未払法人税等 | 835,862 | 470,137 |
| 役員賞与引当金 | 6,000 | 4,500 |
| 受注損失引当金 | 5,108 | — |
| 賞与引当金 | — | 212,389 |
| その他 | 1,407,362 | 1,261,444 |
| 流動負債合計 | 7,825,802 | 6,079,422 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 78,600 | 20,700 |
| 長期預り保証金 | 737,360 | 735,249 |
| 繰延税金負債 | 5,510,039 | 6,097,517 |
| 退職給付に係る負債 | 114,930 | 97,864 |
| 資産除去債務 | 30,376 | 30,376 |
| 長期未払金 | 319,730 | 317,330 |
| 固定負債合計 | 6,791,036 | 7,299,037 |
| 負債合計 | 14,616,839 | 13,378,460 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,444,090 | 1,444,090 |
| 資本剰余金 | 818,461 | 818,495 |
| 利益剰余金 | 32,454,908 | 33,860,928 |
| 自己株式 | △376,396 | △376,914 |
| 株主資本合計 | 34,341,063 | 35,746,599 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,687,304 | 14,176,450 |
| 繰延ヘッジ損益 | △60,412 | △80,502 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,626,892 | 14,095,948 |
| 新株予約権 | 549,411 | 750,411 |
| 純資産合計 | 47,517,366 | 50,592,958 |
| 負債純資産合計 | 62,134,206 | 63,971,419 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 21,476,744 | 23,523,233 |
| 売上原価 | 14,785,690 | 16,997,115 |
| 売上総利益 | 6,691,054 | 6,526,118 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,328,440 | 3,444,357 |
| 営業利益 | 3,362,613 | 3,081,760 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 234 | 270 |
| 受取配当金 | 450,105 | 524,258 |
| 持分法による投資利益 | 1,644 | 1,429 |
| その他 | 62,645 | 36,395 |
| 営業外収益合計 | 514,629 | 562,353 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,488 | 3,001 |
| 租税公課 | 10,437 | — |
| 減価償却費 | 6,249 | — |
| 為替差損 | 2,371 | — |
| 保険解約損 | — | 2,374 |
| その他 | 8,492 | 541 |
| 営業外費用合計 | 31,038 | 5,917 |
| 経常利益 | 3,846,204 | 3,638,195 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 886 |
| 投資有価証券売却益 | 43,516 | — |
| 特別利益合計 | 43,516 | 886 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 6,593 | 51 |
| 特別損失合計 | 6,593 | 51 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,883,127 | 3,639,030 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,308,524 | 1,256,946 |
| 法人税等調整額 | △74,260 | △74,947 |
| 法人税等合計 | 1,234,264 | 1,181,998 |
| 四半期純利益 | 2,648,863 | 2,457,031 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,648,863 | 2,457,031 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,648,863 | 2,457,031 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,917,918 | 1,489,145 |
| 繰延ヘッジ損益 | △20,065 | △20,089 |
| その他の包括利益合計 | △1,937,983 | 1,469,056 |
| 四半期包括利益 | 710,879 | 3,926,087 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 710,879 | 3,926,087 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 防災 | 繊維 | 不動産賃貸 | その他 | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------|------------|-----------|---------|--------|------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,936,546 | 5,141,155 | 361,842 | 37,199 | 21,476,744 | — | 21,476,744 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,318 | 54,274 | 7,830 | — | 66,423 | △66,423 | — |
| 計 | 15,940,864 | 5,195,430 | 369,672 | 37,199 | 21,543,168 | △66,423 | 21,476,744 |
| セグメント利益 | 3,729,009 | 497,863 | 265,924 | 19,906 | 4,512,703 | △1,150,090 | 3,362,613 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,150,090千円には、セグメント間取引消去△1,273千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,148,817千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 防災 | 繊維 | 不動産賃貸 | その他 | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------|------------|-----------|---------|--------|------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,133,109 | 3,974,621 | 389,133 | 26,368 | 23,523,233 | — | 23,523,233 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,776 | 20,499 | 8,460 | — | 33,736 | △33,736 | — |
| 計 | 19,137,886 | 3,995,121 | 397,593 | 26,368 | 23,556,969 | △33,736 | 23,523,233 |
| セグメント利益 | 3,624,992 | 402,555 | 277,153 | 9,298 | 4,314,000 | △1,232,239 | 3,081,760 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,232,239千円には、セグメント間取引消去△16千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,232,223千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。